

マーケットの動き（2021年3月1日～3月5日）

先週の米国国債市場は金利が上昇しました（債券価格は下落）。FRB（米連邦準備制度理事会）パウエル議長から長期金利上昇に対する具体的な抑制策が示されなかったことを受けて、金利が上昇しました。一方で、ECB（欧州中央銀行）高官からは金利上昇抑制をほのめかす発言が見られたため、ドイツ国債市場は金利が低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2021年3月）

長期金利は、米国では上昇圧力が根強く、欧州（ドイツ）では米国市場の影響を受けやすい

米国：長期金利は、政府による約1.9兆ドルの追加経済対策が早期に成立すると見方を受けて上昇基調となりましたが、金融政策の正常化には相当の期間を要するとみられることから、当面の長期金利の上昇余地は限定的とみています。ただし、追加経済対策などにより早期の景気回復見通しが広がりやすいことから、長期金利の上昇圧力は根強いとみています。

欧州（ドイツ）：欧州地域におけるワクチンの普及状況や実体経済の動向を注視しつつも、米国長期金利の影響を受けやすい状況が続くとみています。

	3月5日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.55	0.09	0.39	0.84	0.63
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	497.26	0.57%	0.19%	0.10%	3.44%

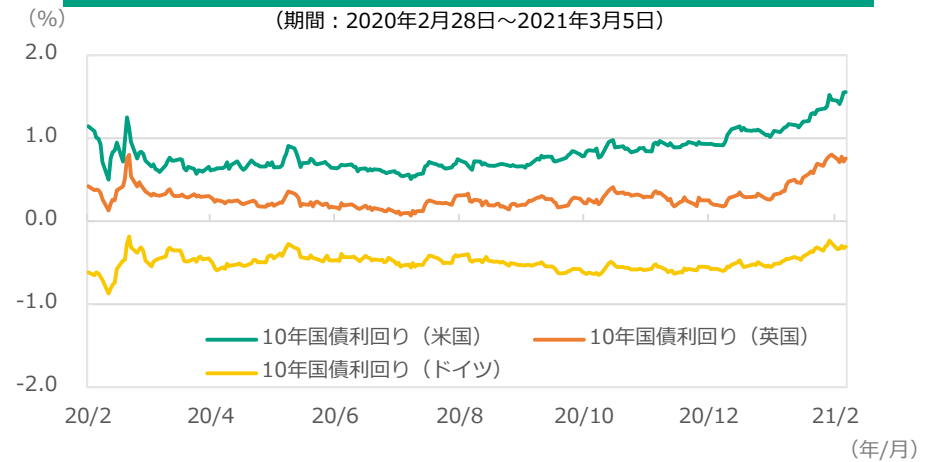
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202103_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成